

# いわき農林事務所ニュース

2006年 5月号

## 活動状況

### ○いわき地方防霜対策本部が設置されました。

4月3日(月)、県いわき合同庁舎において「平成18年度いわき地方防霜(ぼうそう)対策会議」が開催され、いわき地方防霜(ぼうそう)対策本部(本部長:小山正雄・県いわき農林事務所長)が5月31日までの2カ月の期間で設置されました。

会議では、農作物の凍霜害を未然に防ぐため、霜に関する情報の伝達方法や被害発生時の被害状況の把握、各作物の防霜(ぼうそう)対策技術などについて協議し、防霜対策に係る関係機関の役割を確認しました。また、その他の気象災害においても、防霜(ぼうそう)対策本部の体制で準用することも併せて確認しました。

会議終了後、県いわき農林事務所農業普及部に「いわき地方防霜(ぼうそう)対策本部」の看板が設置され、防霜(ぼうそう)対策がスタートしました。



### ○有機栽培技術実証ほ作業始まる

いわき農林事務所では、食の安全・安心に対する消費者意識の高まりを背景に、有機性資源の循環利用と、人と環境にやさしい安全・安心な農産物促進、管内における有機栽培や特別栽培の普及拡大を図るため、いわき地域有機農産物等普及推進会議を設立し、その取り組みの一つとして、4カ所の技術実証ほを設置しました。今回は、水稻とネギの有機栽培技術実証ほの播種、育苗の様子を紹介します。

○水 稲：4月7日、播種作業が行われました。現在、育苗用のプールにビニールトンネルで保温しながら苗を育てています。

○ネ ギ：4月11日、播種作業が行われました。機械定植対応の育苗容器(チェーンポット)を用い、育苗ハウス内で苗を育てています。

水稻、ネギいずれも発芽ムラも無く、生育は良好です。順調に生育すれば、水稻の田植えは5月23日頃(にちごろ)、ネギの定植は5月25日頃になる見込で、いわき地方における有機栽培技術の確立が期待されます。



水稻苗生育状況



水稻プール育苗全景



播種作業



発芽の様子

## ○「火の用心 森の恵みを 未来まで」 ～山火事防止パレードを実施～

4月6日（木）と同13日（木）の2日間計4方部で、いわき地方山火事防止対策協議会主催による平成18年度山火事防止パレードが行われました。

毎年春先は、山火事が発生しやすいことから、いわき市、市消防本部、磐城森林管理署、市森林組合、県地方振興局、県農林事務所など関係機関が参加して、いわき市内の各地をパレードしながら山火事防止を呼びかけています。

山火事は、空気が乾燥しやすく入山者が多いこの時期に多発していますが、その原因はタバコの投げ捨てやたき火の不始末など、人の不注意によるものが殆どです。

森林は大切な自然財産であり、関係者一同これからも継続して山火事防止の普及啓発に努めてまいります。

今年の山火事防止の統一標語は、「火の用心 森の恵みを 未来まで」です。

皆様の御協力をお願いします。



チラシや風船などを配布して山火事防止を呼びかけた

## ○ 農業ふれあい講座（開講式）が開催されました！

4月22日（土）、いわき市平荒田目の農業ふれあい講座ほ場において、いわき農業青年クラブ連絡協議会主催の「農業ふれあい講座（開講式）」が開催されました。

いわき農業青年クラブ連絡協議会では、野菜づくりを通して市民に農業への関心と理解を深めていただくため、一般消費者の方々を対象として4月から11月まで計4回の農業ふれあい講座を開催します。本講座では、クラブ員が参加者の方々に、栽培のアドバイスを行いながら実際に野菜づくりを体験していただくもので、11月には収穫の喜びを実感していただく収穫祭を予定しています。

第1回目の開講式では、晴天にも恵まれて8家族10名の方（かた）が参加しました。参加者の方々からの「ニンジンの作り方は？」「おすすめの野菜は？」という質問にクラブ員が丁寧に答える等、参加者とクラブ員が共にふれあう開講式となりました。



開講式



受講者への指導状況

## ○ 渡辺小の「田んぼの学校」その2

4月26日(水)、いわき市渡辺町の渡辺小学校5年生16名が「田んぼの学校」で1年間ユニフォームとして使用する、「田んぼの学校Tシャツ」を作成しました。

児童達がそれぞれ持ち寄ったTシャツに、「田んぼの学校」や「なまえ」などの文字がプリントされたシートをアイロンで貼りつけました。持ち寄ったTシャツの色や貼り付ける位置もバラバラで、それぞれに個性豊かなTシャツが出来上がりました。早速、完成したTシャツを着て、「うまくなできた」や「かわいい」等の声があがり、世界でたった1つのTシャツに大満足していました。わんぱくな児童達のことなので、大胆に汚れていくと想像されます。

続いて、次回の生きもの調査用に、「田んぼの生きもの図鑑」を1人1人に配布しました。

次回の5月11日は、水を張った田んぼやビオトープゾーンにどんな生きものがいるのかを調査します。図鑑に載っている生きものがどれだけ見つかるのか今から楽しみです。



大満足!!

## トピックス

## ○ ナメコの植菌・花炭づくり体験が行われました!

4月23日（日）、いわき市田人(たびと)町荷路夫(にちぶ)地区の有志でつくる「明神里山実行会」によるナメコの植菌・花炭づくり体験が行われました。

参加したのは、同実行会の会員のほか、地区内の親子や田人支所、いわき農林事務所職員など、およそ50名です。

まず、同実行会の会員及びいわき農林事務所職員が、植菌の方法などを参加者に説明、指導しました。その後、子供たちを中心に植菌体験が行われ、コナラなどの原木にナメコを植菌しました。子供たちは、自分で菌を植えた原木に名前を書いたプレートをつけました。植菌を行うのははじめてという子供たちが多く、「自分が植菌した原木からナメコを収穫できるようになるのが楽しみ」など、楽しそうに話していました。

続いて、花炭づくりが行われ、参加者は、持参した松ぼっくりなどを缶に入れ、焼き上がるまでに1時間ほどかかりましたが、できあがった花炭をみると歓声が上がり、形がそのまま、黒く焼き上がった花炭に驚いている様子でした。

植菌した原木は地区内の山林に伏せ込み、同実行会といわき農林事務所が協力して管理し、来年の秋ごろにはナメコの収穫体験が行われる予定です。



植菌体験を楽しむ参加者ら



できあがった花炭

◀ もどる

すすむ ▶

[ [▲Top](#) | [福島県トップページ](#) | [いわき農林トップページ](#) ]